

Q & A

問題解決!



南部営農センター
園芸課
検校 哲也

Q1 サクラランボの枝にクビアカツヤカミキリがとまっているので捕殺しました。木曾岬町の桜並木では深刻な被害が出ているようですが、近隣へも被害が広がって来るのではないかと心配です。クビアカツヤカミキリに対しても園芸用「キンチョールE」は効果がありますか。



写真1

A1 クビアカツヤカミキリ(写真1)は、特定外来生物に指定されている害虫です。鍋田川堤の桜並木も被害を受けていて、木曾岬町は情報提供と駆除を呼びかけています。
クビアカツヤカミキリの被害を受けた木の株元には、虫の糞の混じった木くずが落ちて



写真2

ています(写真2)。この木くずが目印になります。

木の中の幼虫は、樹の皮に穴をあけて、邪魔になる木くずと糞を外に出します。6〜8月に卵から孵化し、樹の中で2年間を幼虫で過ごし、その間、木の中を食い荒らします。
木くずを見つけて穴を探し、虫のいる穴へ「キンチョールE」を注入して幼虫を防除します。その手順を紹介します。
虫の糞と木くずが出ている穴を見つけてみます。糞と木くずを千枚通しなどで穴からかき出します。キンチョールEのノズルを差し入れて薬液を注入

します。ノズルの詰まりを防ぐため、差し入れる直前から噴射させたまま注入すると木くずが詰まりにくくなります。薬液が穴の中に充滿するまで注入します。
注入した穴にダルマペンで目印します(写真3)。この時、木くずを取り除いておきます。



写真3

4〜5日経ったら、新しい糞と木くずが出てこないか確認します。まだ出ているのなら、またキンチョールEを注入します。

クビアカツヤカミキリをほつとくと、桜だけでなく梅や桃などのバラ科、柿やオリブなどにも被害を広げます。ひどい被害を受けた木は倒木の恐れも出てきます。見つけしだい、防除してください。
なお、愛知県では2021年に見つかってから生息範囲が広がっているそうです。見つけしだい防除するとともに、市町村の環境担当課まで連絡をお願いしています。

Q2 家庭菜園でいろいろな種類のブルーベリーを育てていますが、1年目2年目までは実がなつて楽しいのですが、3年目辺りから枯れてしまふのですが、何か原因があるのでしょうか？

A2 ブルーベリーが突然枯れる原因として、一番にあげられるのがコガネムシの幼虫です。

コガネムシの幼虫がブルーベリーの根元にいると根を食い荒らしてしまうので、今まで元気だったブルーベリーがあつという間に枯れてしまいます。コガネムシの幼虫はブルーベリー栽培で一番の天敵となります。

次に、ブルーベリーが枯れる原因とされるのは、土壌の酸性度です。ブルーベリーは酸性土壌でないと、ブルーベリーの根に共生している菌が活動してくれないので栄養を吸い上げることができなくなります。それによって徐々に元気がなくなります。
その他に多い原因としては水枯れもあります。ブルーベリーの根は菌と共生しているので根毛が少なく、水を吸い上げる力が強くありません。そのため、土が乾燥しすぎると元気がなくなつてしまいます。

コガネムシなど害虫が原因の場合は害虫を取り除きます。「ダイアジノン粒剤」を土の中へ混ぜ込みます。病気の枝があれば、その部分を剪定します。
土壌の酸性度が問題の場合は「ピートモス」で酸性度を調整しましょう。原因を取り除いたら、花や実を全て取り除いて、栄養が枝や葉、根に十分に行き渡るようにします。

オンライン農業塾はこちら
動画はコチラ

管内の病害虫情報はコチラ

家庭菜園情報はコチラ



ピートモス



ダイアジノン粒剤5

愛菜耕房 グリーンセンター津島支店及び
菜々耕房 グリーンセンター十四山支店で
お取り扱いしております。